【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成16年10月7日(2004.10.7)

【公開番号】特開2002-40325(P2002-40325A)
【公開日】平成14年2月6日(2002.2.6)
【出願番号】特願2000-224765(P2000-224765)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０２Ｂ　13/04
　Ｇ０２Ｂ　13/18
【ＦＩ】
　Ｇ０２Ｂ　13/04　　Ｃ
　Ｇ０２Ｂ　13/18

【手続補正書】
【提出日】平成15年9月24日(2003.9.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】請求項５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項５】
請求項１ないし４のいずれか１項記載の広角レンズ系において、第２レンズ群は物体側から順に正の第２Ｆレンズ群と正の第２Ｒレンズ群からなり、無限遠物体から近距離物体へのフォーカシング動作は、第１レンズ群と第２Ｆレンズ群を一体としたＦａ群と、第２Ｒレンズ群を一体としたＦｂ群とをそれぞれ独立に、かつ該Ｆａ群とＦｂ群の間隔が狭くなるように、像側から物体側に移動させて行う広角レンズ系。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
本発明による広角レンズ系の無限遠物体から近距離物体へのフォーカシング動作は、第２レンズ群を物体側から順に正の第２Ｆレンズ群と正の第２Ｒレンズ群で構成し、第１レンズ群と第２Ｆレンズ群を一体としたＦａ群と、第２Ｒレンズ群を一体としたＦｂ群とをそれぞれ独立に、かつ該Ｆａ群とＦｂ群の間隔が狭くなるように、像側から物体側に移動させて行うことが好ましい。このＦａ群とＦｂ群とは、少なくとも、ほぼ一定の移動量の比で、像側から物体側に移動される態様、あるいは物体距離が近距離になるほど、Ｆａ群の移動量に対するＦｂ群の移動量の比が大きくなるように、像側から物体側に移動される態様が可能である。